

東京都退職校長会



会報

発行所 東京都退職校長会  
発行者 角田 美 枝 子

〒113-0034 文京区湯島4-12-3 鈴木日退連共同ビル5F  
電話 03-5814-5615

東京都退職校長会ホームページ <http://totaikou.jp/>

【第七十一回定期総会】

新緑が目にも鮮やかな五月、会員の皆様のご協力を得て定期総会を無事に終了することができました。

ご来賓として、東京都教育庁教育監 瀧沢佳宏様をはじめ多数の方々にご臨席いただきました。

本会は昭和二十八年に「親睦と互助」並びに「教育への寄与」を目的にして創立され、平成三年から平成十一年まで会員数は六千名を超えていました。本会の「前人」は、事務所の設置・取得を目指し



前人木を植えて、後人涼を得る

東京都退職校長会 会長 角田 美 枝 子

て「事務所設置等積立金」を継続してきました。そして今、本会は積み立てられた「事務所設置等積立金」の恩恵に浴して運営しています。

現在、本会の課題は「会員の増強」と「財政の安定化」です。

「会員増強」に関しては、六十歳で「役職定年」を迎える校長先生方に入会を勧めるため、会則を一部改正しました。本年四月の入会者名簿には、六十歳で役職定年を迎え、引き続き校長職を勤める「特例任用校長」のお名前があり

ました。支部長方のご尽力に感謝いたします。

財政面では「財政安定化委員会」を立ち上げ、財政面の問題点を広い見地から検討しました。令和六年度は実行への道筋を付けたと思います。

また、本会の特色であり、魅力でもある「教育への寄与活動」を進めるために「教育研究プロジェクト・チーム」を立ち上げ、全会員にアンケートで教育支援活動の実状と意向を伺いました。「機会があつたら、教育支援活動を行い

たい」という多数のご意見とともに、アンケート結果を東京都教育庁幹部との教育懇談会の場で報告したところ、高い関心を示していただきました。

本会の魅力は、活動あつてこそ発揮されるとの思いを強くしています。

全会員と今後入会してくださる方々のために「前人、木を植えて、後人、涼を得られる」ように、皆様と力を合わせて東京都退職校長会を盤石にすべく全力を尽くします。

【各支部総会】

三十三支部より支部総会にお招きいただきました。各支部が「学校支援」と「親睦」の面から、多彩かつ格調高い活動をしておられることに敬意を抱きました。支部間交流を望む支部長の声も聞きましました。支部総会参会者の皆様と、直接お話しする貴重な機会をいただきましたことにお礼申し上げます。蝉の鳴き声に猛暑の到来を感じさせられますが、会員の皆様には、ご自愛いただき、暑い夏を元気に乗り切られますよう、お祈り申し上げます。

主な記事

- |                                                               |                               |
|---------------------------------------------------------------|-------------------------------|
| P1 巻頭言 会長挨拶                                                   | 各部、クラブ、委員会                    |
| P2 定期総会                                                       | 第一回会員研修会報告                    |
| P3 令和5年度 事業報告、<br>令和6年度 主要事業計画、<br>令和6年度 会員増強プロ<br>ジェクトチームの活動 | P6 支部だより<br>新入会員の声            |
| P4 令和5年度 決算報告                                                 | P7 令和6年 春の叙勲受章会員<br>高齢者叙勲受章会員 |
| P5 令和6年度 本部役員、<br>事務局長、支部長一覧、                                 | P8 物故者、応募コーナー<br>編集後記         |

# 令和六年度 定期総会

日時 令和6年5月15日  
12時30分開会  
会場 主婦会館プラザエフ

## 【定期総会概要】

令和六年度定期総会が、五月十五日（水）、四ツ谷駅前の主婦会館プラザエフにて開催されました。東京都教育庁教育監 瀧沢佳宏様はじめ十一名のご来賓にご臨席賜り会員八十四名のご参加で行われました。角田美枝子会長の挨拶、三名のご来賓のご祝辞に続き、新入会員の紹介、長寿会員の紹介、功労会員への感謝状贈呈、荣誉会員紹介のセレモニーが行われました。

議事に入り令和五年度の会務報告、決算報告に続き、令和六年度の事業計画、予算案に関する審議が行われ、承認されました。その後、七十周年記念行事の総括・収支決算報告が行われ、実行委員会解散宣言が行われました。続いて各種委員会委員長から会則の一部改正報告、予算編成委員会報告、会員新入会員勧誘状況と勧誘計画の報告、本会の財政再建に関する報告がそれぞれ行われ、会歌斉唱の後、閉会されました。  
(総務部担当副会長 赤坂寅夫)

## 定期総会の開催に寄せて

東京都教育庁

教育監 瀧沢 佳宏

本会が長きにわたり、様々な活動に取り組み、東京都の教育の発展に貢献されておられることに、感謝申し上げます。

都教育委員会では、東京都教育ビジョン（第5次）を策定し、「自ら未来を切り拓く力の育成」、「誰一人取り残さないきめ細かな教育の充実」、「子供たちの学びを支える教職員・学校の力の強化」を3本の柱として、施策を展開しております。今年度は新たに、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向け、デジタル活用を前提としたこれからの授業の在り方を研究し、教員の授業力を向上させてまいります。また、不登校生徒の多様なニーズに対応するため、中学校10校にチャレンジクラス（不登校対応校内分教室）を設置し、学習環境の整備等を進めてまいります。

東京都の教育の充実のため、今後も御理解・御協力いただけますようお願い申し上げます。

## 全国連合退職校長会

会長 田中 昭光

本日は、総会にお招きいただき有難うございます。前年6月、会長入子祐三氏が退任され、会長を引き継ぐことになりました。東京都退職校長会が日頃より、全連退へのご理解・ご協力を賜っていることに深く感謝しております。また、引き続き会員の親睦とともに、地域・学校の教育に支援されますことをご期待申し上げます。

全連退ではコミュニティ・スクールに参画し地域住民と連携・協力し、地域全体で子供たちの成長を支え、家庭や地域の教育・文化の振興に貢献していきます。

最後に、退職校長会の活動として、学校支援活動に一層貢献されますとともに、会員の皆様の益々のご活躍、ご健勝を祈念しご挨拶とさせていただきます。

## 東京都中学校長会

会長 堀越 勉

本会HPを拝察いたしますと、まず「未来の子供たちのために、いつまでも健康で、責任と寛容に満ちた会」とあります。未来、

責任、寛容といった、現職である私たちも、常に立ち返らなければならぬ言葉があり、諸先輩方から学ばせていただくことの大きさを痛感しております。

学校現場では、学習指導要領の趣旨を反映した学びへの不断の改善、児童・生徒の不登校等の増加、地域移行・地域連携を視野に入れた部活動の在り方など、課題もあり、その対応も迫られております。また、教員が十分に満たされていない状況も深刻になってきています。

東京都退職校長会の皆様に引き続きご指導ご鞭撻を賜りながら、学校現場がこれからも一歩ずつ前に進むよう努めてまいります。



令和五年度 事業報告 要旨

一 活動方針と重点

令和五年度は活動の基盤を「親睦と互助」と考え、会員の心の拠り所や居場所となり、生きがいの一つとなることを目指した。喫緊の課題を「財政の健全化・安定化」と「会員増強」とし、特別委員会を設置し、検討・審議するとともに各部で様々な取り組みを実施した。

二 各部・委員会の活動報告

- (1)【総務部】総会・支部長会等の開催準備、業務の円滑な運営・管理のための各部・各組織間の連絡、調整。新会員名簿の発行。会員数・会員の動静の把握。(2)【会計部】会員数減少に伴う収入減を受け、各部・各委員会等と連携し、特に実収入を意識した予算編成と執行、支出の抑制を実施。(3)【広報部】情報の正確な掲載に努め、年四回の会報を発行した。会報の送付では他部・事務局の協力を得て、経費節減に努めた。(4)【福利厚生部】叙勲・長寿者、物故者等の情報収集・整理。会員の慶弔に関する事務処理を実施。(5)【生涯学習部】年二回の会員は支部長の協力を得て、開催の周知を工夫し参加者増に繋げた。(6)【情報推進部】ホームページ作成・運営・管理・更新作業。諸会議のZoom会議による経費節減。個人情報保護の観点からHP公開依頼書を作成。(7)【特別委員会】「予算編成委員会」一般会計の収入の部における「積立基本金」からの借入金削減を検討。「業務運営改善委員会」組織図、クラブ活動に関する規程やブロック長の任期等の検討。会則の一部改正の検討・新入会員パンフレットの作成。「教育研究プロジェクトチーム」教育への寄与に関するアンケートを実施。その結果をまとめた報告書を作成。「会員増強プロジェクトチーム」各支部と連携し会員増強を推進。新入会員パンフレットの配付。「財政安定化委員会」支出削減を目指し、事務局費の削減等、広い見地から解決の方策を探った。

令和六年度主要事業計画

一 活動方針と重点

・役職定年を迎えられる方、暫定再任用で退職される方等、積極的に入会を勧誘する。・「予算編成委員会」と「特別会計委員会」を統合し、「一般会計・特別会計検討委員会」として予算執行及び編成上の課題解決に取り組む。・「教育への寄与」に関する研究を継続・深化させる。

二 各部の活動計画

- 【総務部】薄版名簿を作成・発行する。【会計部】会報等の発送費の値上がり等の課題があり、支出削減の一層の努力をする。【広報部】年四回発行の継続と年三回発行に向けての検討。【福利厚生部】福利厚生に関わる諸情報の収集と正確な情報発信に努める。【生涯学習部】第二回会員研修会 十一月十三日(水)「自然を楽しまう」実践編・皇居東御苑 【情報推進部】「スマホ操作研修会」 十月十日(木)午後一時〜 鈴木日退共同ビル三階会議室 (総務部担当) 副会長 赤坂寅夫

「令和6年度会員増強プロジェクトチーム」の活動

都退職校長会の会員数が年々減少しています。本プロジェクトチームは危機意識を持って名簿作成に取り組んでいます。

(1)7月支部長会での勧誘対象

- ①役職定年の未加入者 ②再任用退職の未加入者

◎主な配布資料

・未データ一覧・勧誘通知文 ・「入会のご案内」・各支部の活動内容・入会申込書等

(2)令和7年1月支部長会では

- ①令和6年度退職の未加入者 ②令和7年度役職定年予定者

◎主な配布資料(前記と同)

- (3)令和7年4月支部長会では ①定年退職後5年経過の未加入者(令和元年度)

◎主な配布資料(前記と同)

△活動▽ 幼・小・中・高の各事務局から情報を得て、黒手帳を頼りに年間1300名を超えてデータを作成。支部長の皆様には、「一人一声」運動を展開して会員数の増加、若い会員に入会者の勧誘を依頼するなどの工夫をして、一人でも多くの会員を確保するよう切望しております。

皆様の絶大なるご支援・ご協力をお願いいたします。

(会員増強プロジェクトチーム 委員長 壺内 明)

令和5年度 東京都退職校長会 一般会計決算書

1 収入総額 8,497,477 円 2 支出総額 7,938,248 円 3 繰越金 559,229 円

単位=円 △：収入は予算より増、支出は予算より増

収入の部				
款 項 目	令和5年度予算額	令和5年度決算額	増 減	摘 要
年 度 会 費	5,275,000	5,045,700	229,300	2,500円×1,990名 1,300円×54名 未納者62名 3,614,400 1,800円×1,990名 600円×54名
繰 越 金	196,348	196,348	0	
雑 収 入	610,000	1,755,429	△ 1,145,429	利子・広告掲載料 日本公務員弘済会研究助成金 積立基本金より借入金
積 立 基 本 金	2,200,000	1,500,000	700,000	
合 計	8,281,348	8,497,477	△ 216,129	

支出の部				
款 項 目	令和5年度予算額	令和5年度決算額	増 減	摘 要
会 議 費	440,000	437,631	2,369	
総 会 費	350,000	363,042	△ 13,042	総会に関する諸費（会場費、記念品費、発送費）
役 員 会 費	80,000	74,589	5,411	都公立一覧(黒手帳)・五団体懇・全連退懇談会等
部 会 費	5,000	0	5,000	各部の会合・資料・印刷・通信費
各種委員会費	5,000	0	5,000	各種委員会資料作成・通信費
事 業 費	2,485,000	2,335,550	149,450	
会員名簿発行費	20,000	0	20,000	会員名簿作成・発送費・通信費等
会 報 発 行 費	700,000	633,760	66,240	会報 218～221号印刷費
生涯学習費	30,000	24,850	5,150	会員研修会会場費等・講師謝金
慶 弔 費	500,000	508,191	△ 8,191	香料
渉 外 費	10,000	5,000	5,000	他機関との交渉・現職校長会連絡費等
クラブ補助費	80,000	79,960	40	クラブ事業の助成金
教育支援費	10,000	0	10,000	案内状作成・発送費・資料作成費
会員増強費	100,000	96,632	3,368	新会員入会に関する通信費 会報増刷印刷費
HP運営費	170,000	200,505	△ 30,505	HP・インターネット関連費
支部活動助成費	650,000	631,087	18,913	支部助成・振替料等 ※ 300円×2,031名
支部活動祝金	200,000	155,565	44,435	支部総会・周年行事等の祝金
島嶼活動助成	15,000	0	15,000	支部長会交通費一部負担
事 務 費	3,580,000	3,736,937	△ 156,937	
事務用品費	60,000	66,770	△ 6,770	事務用品・消耗品等
備 品 費	10,000	0	10,000	事務機器等
事務員行動費	840,000	640,000	200,000	本部事務員行動費・事務補助員行動費
事務所費	1,900,000	2,169,450	△ 269,450	事務所借料・光熱費・電話料等 家賃月 145,000円
印 刷 費	20,000	55,863	△ 35,863	資料文書等印刷費
コピー機費	500,000	574,048	△ 74,048	コピー機・印刷機リース費 コピー費
通 信 費	250,000	230,806	19,194	通信連絡用諸費・会報等の送料
交 通 費	600,000	494,880	105,120	支部長・役員会・部会・事務局員等交通費半額
全連退分担金	853,600	848,000	5,600	全連退分担金 400円×2,120名
事務所設置等積立金	10,000	10,000	0	事務所設置等積立
記念行事積立金	10,000	10,000	0	周年行事積立金
名簿発行積立金	10,000	10,000	0	名簿積立金
関プロ積立金	10,000	10,000	0	R10年東京大会の積立金
諸 費	45,000	36,250	8,750	関プロ千葉大会参加費、傷害保険費
雑 費	10,000	9,000	1,000	
予 備 費	227,748	0	227,748	
合 計	8,281,348	7,938,248	343,100	

令和5年度 特別会計 決算書

1 事務所設置等積立金（積立基本金）			
収 入		支 出	
繰越金	22,947,489	一般会計へ	1,500,000
本年度繰越金	985,000		
事務所設置等積立金	10,000		
普通・定期利息	466	計	1,500,000
計	23,942,955	次年度繰越金	22,442,955

2 記念行事積立金			
収 入		支 出	
前年度繰越金	2,199,357	70周年記念式典等	4,021,947
令和4・5年度積立金	30,000		
企業協賛金	990,000		
会員協賛金	3,533,852		
利息	30	計	4,021,947
計	6,753,239	次年度繰越金	2,731,292

3 会員名簿積立金			
収 入		支 出	
繰越金	10,000		
積立金	10,000		
利息	-	計	0
計	20,000	次年度繰越金	20,000

4 関プロ積立金			
収 入		支 出	
繰越金	0		
積立金	10,000		
利息	-	計	0
計	10,000	次年度繰越金	10,000

令和6年4月1日

東京都退職校長会 会長 角田美枝子 ㊟

〃 会計部長 直井 一郎 ㊟

諸帳簿・証書等・関係資料と対照監査したところ、適正且つ正確に処理されていることを確認しました。

令和6年4月10日

監事・氏名・印

伊藤 誠一 ㊟

澤海 富保 ㊟

山内 俊久 ㊟

令和6年度 本部役員・事務局長

会 長	角田美枝子 (品川)	会務の統括・代表	相談役	桐谷 澄男 (千葉南)
副会長	赤坂 寅夫 (千葉南)	総務部担当	〃	西田 敦子 (日南)
〃	皆川 清 (町田)	会計部担当	〃	宇津木順一 (西多摩)
〃	増田 稔 (西多摩)	福利厚生部担当	監 事	伊藤 誠一 (足立)
〃	齊藤 徳藏 (千葉西)	生涯学習部担当	〃	澤海 富保 (北多摩西)
〃	福島 良樹 (八王子)	情報推進部担当	〃	山内 俊久 (北)
			事務局長	直井 一郎 (大田)

令和6年度 支部長一覧

1	千代田・中央	鈴木 正孝	5	豊島	野村 清	3	府調	中布	保坂	昌代
1	港	野々山 毅	5	北	加藤紀美子	3	調	榎本	本勉	勉
1	新	宿佐藤 正吉	5	荒	川桜庭 清徳	3	狛	江吉田	和夫	和夫
1	文	京小 林 博	5	板	橋橋本由美子	5	北多摩西	萩原	敏文	敏文
1	文	東村山 忠幸	5	練	馬添田 禮子	4	北多摩	村野	久子	久子
1	台	田加藤明 紀夫	2	足	立大兼 茂子	1	大	島村	田公	公充
1	墨	東加村 隆治	2	葛	飾沼田 八郎	1	三	島部	内昭	昭正
1	江	東川名倉 俊一	4	江	戸川子 野	2	千	宮部	内賢	賢男
3	品	黒松本 一郎	4	八	王田南 岸	2	千	菅部	原藤	藤二
3	目	田直井 眞子	4	町	田新保 富	2	千	部	齋川	川和
3	大	谷鈴木 弘	4	日	南岸田 博	2	千	部	齋川	川和
3	世	谷大沼 弘志	3	武蔵野・三	鷹梅津 通	5	千	部	川和	川和
1	世	野田中 弘志	5	北多摩	北多摩	4	千	部	川和	川和
4	中	並井口 茂	4	北多摩	北多摩	4	千	部	川和	川和
4	杉						神	奈川	宮川	宮川

1~5ブロック番号

部・部長 (副部長)

総務部	志賀定一(副)	会計部	直井 一郎	広報部	榎本 勉
福利厚生部	岸田博三(副)、近藤立男(副)、矢野澄夫(副)	生涯学習部	川和 誠一	情報推進部	東海林和衛

クラブ・委員長

絵画	関口 修司	写真	甲野 恵美	囲碁	佐々木和廣	ソフトテニス	石原 容子
園芸	天野 正忠	釣	町田 静隆	短歌	岩井 昭	(休部中)	

特別委員会・委員長

一般会計・特別会計検討	桐谷 澄男	業務運営改善	宇津木順一	教育研究PT	草野 一紀
会員増強PT	壺内 明	財政安定化	草野 一紀	ホームページ	福島 良樹

PT：プロジェクトチーム

第一回会員研修会報告

令和六年度第一回会員研修会は、主婦会館・プラザエフで定期総会後の二時三〇分に開始しました。今年度の研修テーマは「生き生き人生を指して―自然を楽しもう―」です。

第一回が今回の講演会、第二回は十一月十三日に皇居・東御苑で実践編を行います。

両日の講師は荒川支部の荒川シルバー大学理事長・箭内忠義先生です。森林インストラクター・森林セラピーアシスタラーであり、奥多摩観光協会の登山ガイドでもあります。

今回のご講演の前半は「山歩き・野外歩きの楽しみ方」として日本の近代登山の歴史、山歩きの効果、中・高年登山者の体力と安全な山登りを話されました。後半は「山野草とのふれあい方」として植物と動物の攻防、日本の野生種サクラ十種を紹介されました。参加九十六名でした。

第二回につきましては、各支部を通して、全会員の皆様に詳細を配布予定です。

(生涯学習部 田中政美)

# 支部だより

## 助成金と会費免除

西多摩支部長 村野 久子

支部会員数の急激な減少により、平成六年度の予算案を作成するには困難な状況に直面した。どこを削っていくか、無駄な支出などあるはずもない。その中から身を削るような思いで、各科目の支出を少しずつ減らして緊縮予算を作成した。

このことを通して本部からの「助成金」と「会費の免除」に関する規約のありがたさを知った。助成金は、支部を大事にしている証であり「会費免除」は会員数の減少を抑える働きをしている。会費を納められないと即会員の資格を剥奪される組織が多いのに、この規約は退職校長会の金科玉条といっても良い。支部と会員を大事にする東京都退職校長会と共に元気に楽しく活動していきたいと願っている。

# 新入会員の声

## よろしくお願いいたします

世田谷支部 大字 弘一郎

法改正に伴い、定年年齢が段階的に引き上げられることとなり、私たちの年代は61歳定年となりました。現在は、昨年度から引き続き、世田谷区立下北沢小学校で特例任用校長として勤務しております。

都小会長在任中は、退職校長会の皆様をはじめ、多くの方々に支えていただきました。あらためて心から感謝申し上げます。今回、お声をかけていただき、定年前ではありますが、本会に入会させていただきました。教師を取り巻く環境は、我が国の未来を左右しかねない危機的な状況にあります。現役の校長として職責を果たすとともに、本会の一員として、多くの先輩方と力を合わせて、教育環境の充実に尽力してまいります。



## がんと向き合う人を支える基本のがん保険

<b>&lt;生きるためのがん保険Days1&gt;入院給付金日額 5,000円</b>		<b>オリジナルプラン</b>	保険期間	<b>月払保険料例 個別取扱</b> 左記プランの場合 解約払戻金なしタイプ 保険料払込期間：終身/定額タイプ 特定保険料払込免除特約なし	
<b>診断給付金</b>	初めて「がん」「上皮内新生物」と診断確定されたとき	がん・上皮内新生物それぞれ1回限り	一時金として がん 上皮内新生物 <b>50万円 5万円</b>		<b>一生保障</b>
<b>入院給付金</b>	「がん」「上皮内新生物」の治療を目的とする入院をしたとき	日数無制限	1日につき <b>5,000円</b>		
<b>通院給付金</b>	「がん」「上皮内新生物」の治療を目的とする次のいずれかの通院をしたとき ①特定の治療(*1)のための通院 ②初めて診断確定をされた日、所定の治療(*1)を受けた日、または退院日の翌日から365日以内の通院	①日数無制限 ②通院期間中(365日以内)日数無制限	1日につき <b>5,000円</b>		

・保障の開始まで所定の待ち期間(保障されない期間)があります。  
 (\*1)所定の治療とは、手術・放射線治療(電磁波温熱療法を含む)・抗がん剤治療(経口投与を除く)・ホルモン剤治療(経口投与を除く)をいいます。  
 ・ご契約の際には、「契約概要」「注意喚起情報」「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。  
 ・個人情報の利用目的：アフラック等各種商品やサービスの案内・提供・維持管理に利用します。詳しくは弊社HPをご参照ください。

保険料は、2023年4月現在のものです。  
 ※健康状態によっては、記載の保険料と異なる場合があります(保険料が割増となる場合があります)。お申込み後にアフラックから送付する書面をご確認ください。

資料請求・お問い合わせ・お申込みは  
 (平日 9:00~20:00 土日祝 9:00~17:00)

**0120-357-212**

〈募集代理店〉アフラックは代理店制度を採用しております  
**三井住友信託銀行グループ**  
**三井住友トラスト・ライフパートナーズ**  
 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-11-1

〈引受保険会社〉  
**「生きる」を創る。アフラック**  
**Aflac**  
 東京第一法人営業部  
 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-6-1 丸の内センタービル19F  
 Tel.03-6367-3666 Fax.03-3218-3887

AF003-2023-0274 5月2日 (240502)

### 令和6年 春の叙勲受章会員

栄えのご受章お祝い申し上げます。(敬称略)

#### 瑞宝双光章 (6名)

加藤明紀夫 (墨 田)	西田 敦子 (日 南)	成家 亘宏 (埼玉県)
中澤 敬 (日 南)	仲村 誠司 (西多摩)	福田富美雄 (埼玉県)

### 高齢者叙勲受章会員

栄えのご受章お祝い申し上げます。(敬称略)

(令和6年4月10日現在、本部に届け出があった方々)

#### 瑞宝双光章 (9名)

中川 廣子 (杉 並) (令和4年受章)	名取 祐二 (世田谷)	尾上 治 (日 南)
	柿沼 啓造 (新 宿)	緒志 嘉彦 (北多摩北部)
	竹内 保幸 (新 宿)	近藤 立男 (北多摩中部)
	伊藤 房子 (日 南)	武井 定雄 (千葉北部)

※春・秋、高齢者叙勲を受賞される方は支部長へご連絡ください。  
また、支部長は直ちに本部へお知らせください。

(福利厚生部担当副会長 増田 稔)



## ご希望のご予算に合わせて お葬式が執り行えます

**東京都退職校長会会員の皆様へ**

東京都民互助会は、東京都退職校長会 会員福利厚生の一環として  
昭和51年4月より団体契約によるお葬式サービスを提供しております。  
会員ご本人様はもとより、ご家族ご親戚の方々もご利用いただけます。

**365日24時間 いつでも 迅速対応**

 **0120-849-544**

**直葬・家族葬はもちろん ご弔問の多いお葬式まで承ります**



## Well Life ウェルライフグループ

### 東京都民互助会 平安祭典

本社:東京都杉並区上荻3-15-17 営業本部:東京都練馬区北町5-18-15 3階 Tel03-3396-7231

ホームページ



(令和6年4月10日 届出現在)

物故者

謹んでご逝去を悼み  
ご冥福をお祈り申し上げます



Table with columns for names, birth dates, branch names, school types, and ages. Includes names like 小川 捷壽, 平野 稔, 東 憲夫, etc.

(福利厚生部担当副会長 増田 稔)

応募コーナー

俳句

鳥雲に統合進む勤務校  
樟若葉余生はまだと独り言つ  
初めての家庭訪問花水木

目黒支部 松村由紀子

短歌

あれこれと求めた本は寂しくも  
本棚乃主 われ八十路と六つ

かつての生徒ひとこと便りラインにて  
「後期高齢者 仲間入りです」

天変地異七難八苦と闘いて集った  
生徒ら乃還暦の笑み

墨田支部 河原敏子

写真俳句

蓮池や  
葉陰に雀  
なほ四羽



不忍池 2023年8月

江東支部 加村隆治

編集後記

暑中お見舞い申しあげます。この暑さの中、いまだ全域にわたる回復を見ない能登半島の報道があり、ウクライナ、パレスチナでの戦いも収まらず、心痛む日々です。一日も早い回復と平和を祈ります。そのようなかですが会報223号をお届けします。本号は六年度のスタートを討議する総会を主要記事として報じます。巻頭言は会長による総会のとめと課題の提起です。報告頁では紙数の制約下、精一杯の詳細な事業報告、事業計画が述べられます。四頁の決算報告書は活字ポイントを落としながらも全容を示しております。読みづらさは「財政の安定化」が課題と叫ばれる中での貴重な情報とお許しください。新役員、支部長の一覧も年一回の情報掲載ですが全支部、本部との連携活動を支える情報となります。他に、会長も巻頭言で触れています「役職定年制」の始動下、本号には若き新入会員の声が掲載されています。大きな励みとなる嬉しい記事です。

(梅津通郎)